

ミドリの中で研究を！

琉球大学教職大学院



人生を変える 学校が変わる

琉球大学の教職大学院（正式名称は「琉球大学大学院教育学研究科専門職学位課程高度教職実践専攻」といいます）は、学校をとりまく諸問題を解決したり、解決の糸口を探ったり、場合によっては「今より悪くならないようにする」ことを学んで実践力として還元する場です。

琉球大学教職大学院は「これがモロなものでなく」「私がどうすることが子どもたちや、これからの社会に必要なのか」を考え実践し、そこから生じる新たなモロなダイをモロダイとして認識し「理論と実践を往還しながら融合させる」ことを志向した「学びの場」です。

2年間の学修生活の中で、「私が子どもたちにできること」を、一緒に考えてみませんか？



保存版



上間 陽子



浦崎 武



藏満 逸司



小林 稔



下地 敏洋



白尾 裕志



城間 園子



杉尾 幸司



田中 洋



丹野 清彦



比嘉 俊



道田 泰司



村末 勇介



吉田 安規良

**教職大学院
専任教員の紹介**
(2018年11月現在)
&
日課表モデル

授業時間	月	火	水	木	金
1時限 8:30-10:00		沖縄の学校と 社会	教授・学習の 課題と実践	学級経営の実 践と課題	課題 免見 実習Ⅰ
2時限 10:20-11:50	学校教育・教 員のあり方の 課題と実践	教育課程編成 の課題と実践	学校不応へ の実践と課題	指導と評価の 課題と実践	
3時限 12:50-14:20	生活指導・生 徒指導の実践 と課題	課題研究Ⅰ			
4時限 14:40-16:10	学校改革の実 践と課題	課題研究Ⅲ (履修2年次)		思考・判断・ 表現力育成の 課題と実践	

大学院で学ぶ前期の受講予定表です。金曜日は附属学校や特別支援学校へ授業見学（実習）。後期になると週6コマ程度になり研究を整理する時間が生まれません。詳細はwebをご覧ください。



アクセスマップ&オープンキャンパス会場
琉球大学文系総合研究棟 305号室



お問い合わせ
琉球大学教育学部 学務係電話 098-895-8317
Mail : infopste@to.jim.u-ryukyu.ac.jp
<http://www1.edu.u-ryukyu.ac.jp/kyoshoku/>

理論と実践の往還 深い学びとは何か

琉球大学の大学院、特徴は大きく4つ

◆教育の理論を学び深める

研究を深めたい。じっくり本を読み講義を聞き、討論を通して教育について深く学びたい。一度立ち止まり、現場で積み重ねてきた実践を整理する機会、それが大学院です。沖縄県の課題や特徴がそれぞれの講義に取り入れられ、深いことを面白く、難しいことをわかりやすく学ぶことができます。

◆生活指導に強くなる

沖縄県の課題といえば貧困問題です。そこから現れる子どもたちの生活指導上の課題。学力を高めた。けれどもその下地ができていない。悩みを抱えているのではないだろうか。

子どもの見方や家庭への支援を問い直さなければならぬことを理論と実践から示し、あなたの実践力向上を図ります。

◆充実した実習や指導体制

ひとりの大学院生に複数の大学教員が付き丁寧な指導する驚くほど恵まれた体制です。毎日の講義の他に週に一コマ研究を進めるために講義が用意されています。また全員に特別支援学校での実習を実施。さまざまな職種を体験することで教育的視野を広げ、あなたや沖縄県の教育により貢献できる体制づくりを行っています。

◆恵まれたインセンティブ

授業料の優遇措置や沖縄県の幼稚園を除く公立学校に勤務する中堅教諭等資質向上研修該当者が大学院に入学する場合、大幅に研修が免除されます。大学を卒業し本専攻に入学した院生が沖縄県の採用試験に合格すると名簿記載期間が延長され、他大学の方は2年目の学費を免除します。他にも優遇措置がいっぱいです。



9月や2月は連携協力校で実習

小学校でたくさん経験の授業

中学校で国語の授業

7月は研究テーマ決定

算数、数学をテーマに「つまずき」

いじめをテーマに道徳で取り組む

国語の物語の指導と思考力

職場体験を通じたキャリア教育

深い学びと授業の関係

教師の指導のあり方と生活指導

5月、附属での実習

規模の違う学校

異なる校種へ実習に

10月、後期は講義が6コマ程度に

えっ！ほんとうに？

本当です

12月、必要に応じて学校へ

上の写真は大学院で学ぶ1年間、下は現職大学院生や学卒大学院生の研究テーマです。

所属等	研究テーマ
小学校教諭	言語活動の充実を通して批判的思考力を育む指導の工夫 ～国語科「書く」領域における協働的な学びを通して～
小学校教諭	互いの関わり合いを増やす集団づくり ～生活班を使って～
小学校教諭	対話的で深い学びを目指した授業づくり ～一班での学び合いを取り入れた物語文の指導を通して～
中学校教諭	学び合う教師集団の構築 主体的・協働的に取り組む校内研修を通して～
中学校教諭	保健学習の授業づくりを核にした、学校・家庭連携マネジメント ～家庭との連携を通じた、教師チームによる保健学習の充実とその効果検証～
高等学校教諭	琉球国時代の和文・漢文を活用した教材開発 ～「伝統的な言語文化」への興味・関心を広げる授業の試み～
学卒院生	健康相談活動に必要な資質に関する研究 ～現職養護教諭の実践及び研修を通して～
学卒院生	中学理科授業における思考力・判断力・表現力の育成に向けた授業づくり



討論が多く、自由な雰囲気発言でき、自分の疑問に答えてもらい楽しいです！ 校内研究を活発にしました。

(1期生 内山直美・中学校教諭)



他大学から入学し採用試験に合格！授業料が免除になりました。小学校や中学、支援学校で実習し現場で働く準備が出来ました。

(2期生 宮城麻里・小学校志望)



高校の数学の授業を研究したくて大学院に入学しました。種類の異なる先生の話が聞けること自体、大きな収穫です。

(3期生 鳥袋智識・高校教諭)